

大田高校 P T A 広報



泰山木

Taisanboku

第92号

平成23年12月22日

島根県立大田高等学校
P T A 総務委員会

ODA497ふえすていはる ～90年目の大高魂～



総合優勝 緑組（3年3組）



合唱コンクール1位（1年3組）



体 育 祭

島根県立大田高等学校

創立90周年記念

ごあいさつ

PTA会長

田平 隆 司



島根県立大田高等学校創立九十周年にあたり、PTAを代表して関係各位の皆様に対し心よりお慶び申し上げます。

本校は、創立以来これまで文武両道の精神を理念として伝統を継承し、積み重ねてゆく中で、様々な分野において、地元はもちろん、日本国内外で活躍されておられる卒業生を数多く輩出してきました。これもひとえに、歴代の学校関係者の皆様、生徒と保護者の皆様、そして地域の皆様がたのお力があつてのことであり、この場を借りて感謝申し上げます。

大田高校創立より九十年の歴史の中にはそれぞれの時代に合わせ、教育環境、学校を取り巻く社会環境の大きな変化と流れがあつたことと思います。そういう環境の変遷の中でも、子ども達の成長に寄り添い、多感な時期の子ども達の心を支え、鍛え、励まし、学業や課外活動により、それぞれの時代の学舎において常に教師と生徒が真剣に学問に向き合う姿があり続けたこと

は、地域の誇りであり、宝でもあるのだとあらためて思いを巡らせているところ です。

地域の優秀な人材に、高校生になるまでは、地元で高い水準の学業や部活動に専念しつつ、故郷の姿をその歴史、自然環境や伝統文化などあまねく見つけてもらいたいと強く願うとともに、地域からもそれを支えるためにお力添えをいただき、学校、保護者、地域が一体となり学校を取り巻く環境を創りだすことによつて、大田高校がこれまでの伝統を継承しながらも、将来にわたりより一層その存在価値を発揮し、地域や卒業生、生徒の誰もが誇れる存在となることを期待しながら、今後ますますの発展と活躍を祈念しご挨拶とさせていただきます。

最後になりますが、このたび創立九十周年を迎えるにあたりご尽力いただきました皆様には深く感謝の意を表したいと思ひます。

本校創立 九十周年を迎えて

校長 岩井 元 康

本校は大正十年に開校した県立大田中学校から数えますと、今年創立九十周年を迎え、去る十一月二日、県教育委員会委員長北島建孝様、大田市長竹腰創一様、瓶陵会会長中村俊郎様、P

TA会長田平隆司様をはじめ多数のご来賓にご臨席いただき、盛大に記念式典を終えることができました。この記念事業を進めるにあたり、PTA、瓶陵会の皆様をはじめ、多くの方々のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

現在の大田高等学校は、県立大田中学校開校よりさらにさかのぼれば、大正五年に設置された大田町立女子技芸学校(後の県立大田高等学校)、明治三十六年に認可・設立された安濃郡立農業学校(後の県立大田農学校)の流れを受け継いでいます。

この間、本校から巣立られました卒業生の皆様は二万五千六百有余名になりますが、現在そのあとを継ぐ、四百九十七名の在校生は「文武両道の追求」を目指して学業に部活動に真摯に取り組んでいます。

まず学習面においては、教職員のたゆまざる情熱と生徒の真摯な姿が学習効果をあげ、目標とする進路先への合格率も上昇しています。

部活動に

おいては、九割近くの生徒が加入し、様々な活動に一生懸命取り組んでおり、体育系、文化系共に毎



年のように全国大会、中国大会へと出場する部が絶えません。

また、「大田わんぱく遊び隊」の手伝いなど地元のボランティア活動に熱心に取り組む生徒もあり、地域から感謝の声が聞かれることを、大変うれしく思っています。

生徒会活動においては、先に行われた創立九十周年記念学園祭に全校生徒が一つになって取り組み、観る人にも深い感動を与えてくれました。

このように光り輝く今日があるのは、保護者の皆様、地域や卒業生の皆様と歴代の教職員が一体となり、本校の隆盛のために努めてこられた結果であります。

この度、記念事業の一環として、PTA、瓶陵会の皆様のご支援でウォーターサーバーとトレーニング機器を整備していただきました。現在、生徒達はより充実した教育環境のもとで、学習に、部活動に励んでおります。重ねて心から感謝し、お礼申し上げます。

さて、十年後には創立百周年を迎えます。生徒・教職員一同心を一つにして、「地域社会と生徒にとってより魅力ある学校づくり」を目標に、本校のさらなる発展に努める所存です。

今後とも本校の教育活動推進のため、一層のご指導・ご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

祝 辞

瓶陵会 会長
中村 俊 郎



島根県立大田高等学校の創立九十周年記念式典が挙行されるにあたり瓶陵会を代表し一言お祝いを申し上げます。

文化の菊花薫る今日の佳き日に島根県教育委員会 北島建孝委員長様、大田市長 竹腰創一様をはじめ多くのご来賓をお迎えし、めでたく九十周年を迎えることができ誠にめでたくございます。

本校の九十年の歴史は、明治三十六年の安濃郡立農学校から数えますとさらに深く県下でも有数なものであり、大きな誇りとしております。

県央の地に名峰三瓶山を仰ぎ世界遺産となった石見銀山と文化的景観湯の里、美しい日本海岸を有しています。

創立以来大正・昭和・平成と移り変わりましたが、大正十年の創立記念樹として植えられました「泰山木」は今もなお大先輩岩谷直治様から寄贈されました岩谷会館の前庭でいつも私達を見守り続けています。

瓶陵会会員も二万五千有余名を数えます。校歌にありますように雄大な大自然、深い歴史と地域の人々に支えられて育ち、学び、希望を抱いて成長することができました。産・官・学界において世界の各地で幅広く活躍しているところでもあります。

大田高等学校は生徒数の減少は見られますが、歴代校長先生をはじめ諸先生方の誠実で熱意あるご指導のもと文武両道をもつて明るく活発、そしてさわやかに各部門でめざましい活躍を遂げています。頼もしい限りであります。

今日国内外の状況も大きく変わりつつあります。今年三月十一日には千年に一度と言われる東日本を襲った大地震、大津波によって尊い多くの人命も失い、福島での不安も続いています。

日々刻々世界の各地から悲喜こもごもの大事件が報じられています。こうした社会の中で私達は今何をすべきか、何ができるのか求められているところでもあります。思慮しながらひるむことなく果敢に実践し前進していかなければなりません。

おわりにあたり、私達瓶陵会会員はさらに母校の百周年に向けて熱い思いを持ち支えとなるよう協力を惜しまないところであります。大田高等学校のますますのご発展をお祈りし祝辞いたします。

創 立 90 周 年 記 念 品



トレーニング機器



ウォーターサーバー

大田高校創立九十周年 記念式典に参加して

二年四組

島田 真帆

大田高校創立九十周年ということで、式典が盛大に開かれ、体育館がすばらしい雰囲気になりました。その中で、大先輩の講演や、応援歌などを聞いたり、見たりし、私たち大高生の知識をより深くしてくださいました、大変感謝しています。

アトラクションの応援団OBの演舞は、初めて見たので、感動しました。昔は、あのような応援をしていたのだと初めて知りました。

講演では、遠い外国の状況についてすごく詳しく知ることができました。その国の民族の方たちなどを支えていらつしやるので尊敬します。

私たちも、大先輩方のように心身共に成長していきたいと思いました。

最後に、これからも大高生ということとを誇りに思い、大先輩方に見習い、壮大華麗な人生を送りたいと思います。ありがとうございました。



校長式辞



生徒代表あいさつ



感謝状贈呈



大田市長あいさつ



記念講演：宮脇幸生先生

「私のアフリカ研究～エチオピアの牧畜民社会で考えたこと」



アトラクション (吹奏楽部)



アトラクション (応援団OB)



記念学園祭



一組

担任 新道 博行
副担任 増野 光子

こんにちは♡私たち一年一組は男子二十一、女子十九人の計四十人のクラスです。担任の先生は、NE W☆ROADこと新道先生で、副担任は増野先生です。

私たちのクラスは、食いしんぼうクラスで、休み時間には常におにぎりやパンをほおばっています。『腹が減っては戦はできぬ』てなどところですかね(笑) そんな一年一組ですが、行事にはとても熱心で、球技大会や体育祭、文化祭には全力で取り組みます。普段は個性的でなかなかまとまらないこともありますが、本番に近づくにつれて団結力を増し、本番ではみんながひとつにまとまります。それが一組の良さです♡

そんな一組のメンバーです。このことができるのも残り少なくなってきました。なので三学期の球技大会では、一組のパワフルな面を見せつけ、優勝を目指



し、たくさん思い出をつくりたいです。これからもしよろしく願いします☆

渡邊 美咲
布野日奈子
柳澤 菜月

二組

担任 川上 智恵
副担任 山代 典子

皆さんこんにちは☆僕たち一年二組は男子二十二、女子十八人の計四十人のクラスです。担任は英語担当の川上先生で、副担任は家庭科担当の山代先生です。

僕たちのクラスは、個性あふれるクラスです。なかなか一つにまとまらないので、クラスの中で衝突したこともないです。漢字テストや定期テストは：みなさん想像してみてください(笑) 授業中は、先生によく怒られます。いつもだいたい騒いでいるのですが、怒られるとみんなシーンとしてしまいます。

こんな感じの二組ですが、一つすばらしいことがあります。それは、個々の笑いのセンスが高いことです。誰か一人がみんなを笑わせることが多いですね。しらけてしまうことも多少ありますが：笑。そんな二組がもっとまともなれば、最高の笑いがある、最高のクラスになっていく



と思います。

このクラスで過ごすのもあともう少し。一年経つの早いですがわ：。二年生になればそれぞれ別の道に進むから、これから一日一日を大事に過ごしていこうな!!

宇谷 亮介

三組

担任 角田 裕之
副担任 伊藤 裕子

こんにちは僕たち一年三組は、男子二十二人、女子十八人、そして担任の角田先生、副担任の伊藤先生で毎日楽しくさわがしく高校生活を楽しんでます。多分…いやきっと、今までもだったけど、これから

も三組が静かな時はないと思います(笑)。朝から夕方まで大さわぎしているの…そろそろ角田先生も怒り爆発!? ってことはないと思いますか? ぷ。そんなうさわがしいです。

うるさいのが三組は得意。だからかもしれません、合唱コンクールではみごとグランプリ。嬉しかったですね。そして球技大会では、男子がソフトボールで学年優勝。みんな本当かつこよかったよ。バレーは…(笑)本当、最初のころは、団結力は全くなかったです。が、今は、どこのクラスにも負けなくらいの団結力があると思います。これからの生活でもその団結力



を活かしていきたいと思っています。あと少しですが、みんな楽しく、いい思い出をつくらうね。角田先生、伊藤先生、これからも僕たちの活やくに期待を(笑)それではまたのちほど。

羅 紘士
山内 夕葵

四組

担任 才木 克宏
副担任 遠山 佳

こんにちは。私たち一年四組は男子十八人、女子十三人の計三十一人のクラスです。担任は意外に天然な才木先生です。球技大会のときは、いつもクールな先生が超熱血!!! に変身し、おたけびをあげてくださりました。副担任は遠山先生です。生徒Mの目撃情報によると×月〇日、駅前で…生徒Tの目撃情報によると街中で…など、常に私たちを優しく見守って下さっています。ハイタッチしたときに先生の手が少し、いやかなり汗ばんでいたことは内緒です。個性豊かな先生方ですが、クラスのみんなにはかきません。とてもにぎやかです。しかし、にぎやかな原因は女王様、いや猛獣のような女子にあります。女子は二カ月一度「四組女子会」を開き、行動範囲を広げ大田の町に笑顔と明るさを贈っています。そんな元気な女子をまるでお父さんのような眼差しで優しく見守ってくれるのが男子です。シャーパーンがおちたら必ず拾ってくれます。まるで少女のような純粋な目をしている男子ですが球技大会では肉食男子に大変身。女子の黄色い声援をつけて、堂々たる準優勝をかざりました。



(ちなみに女子は二種目とも優勝☆)こんな私たちですが、勉強・部活も頑張っています。両立は大変ですが、みんな支えあって生きています。努力家ばかりです。これからもうずっとよろしくおねがいします。皆様、こんな一年四組ですが、温かく見守ってください。

石川 都子
佐々木 菜緒
林 愛美



第61回全国高等学校 PTA連合大会に参加して

副会長 植本真一

八月二十五日・二十六日、北の国北海道で表記大会が開催され、大田高校PTAを代表して、一万人以上の全国高P連の方々に参加させていた、だきました。

大会テーマ『いのち 輝け！ がんばろう日本！』を掲げ、開催されました。

本大会一日目には、基調講演として北海道出身の香山リカ氏による『生きる力をつける処方箋』と題して講演があり、その中で、親の立場から、もつと心のゆとりを持って子どもと接することが大切であることを学びました。

分科会では、私は特別第一分科会『情報社会とPTA：高校演劇部による問題提起とフォーラムに参加しました。』

その演劇では、ネット上の有害な情報も多くあり、高校生がトラブルに巻き込まれる問題を提起するという、『出会い系に潜む罠』と題して演劇を好演、その後フォーラムが行われ、『ゲート安全教室』の受講の必要性も学びました。

大会二日目は、基調講演として前旭川市旭山動物園園長である小菅正夫氏による「命つなぐ！」と題して講演が行われ、動物の立場から見た命について、動物たちを通して子孫を残すために産み、育てる、地球上に生きている

ものの全てが親から命を受け継ぎ、その親もまたそれぞれの親から受け継ぐという「命をつなぐ大切さ」について時間を上回る熱演でした。

大会を通して、北海道の地元高校生による六団体によるアトラクションも催されました。躍動とフレッシュさが響き渡る演技であり、アンコールが出るほどの感動を呼び起こしました。

本場南中ソーラン節（高校生編）を見ることもでき、全国大会に参加できた喜びから、その感動と想いを生徒の皆さんにと思ひも込めました。

だれもがこの同じ一粒チョコが同じように甘いと感じるか〇〇と感ずるかは人それぞれです。

3年生には、これから始まる戦いに向けて緊張してほしい

2年生には、これから中心的役割を担う責任感を持つてほしい

1年生には、大高魂を引き継ぐ準備段階のための基礎を築いてほしいと願いを込めました。

来年の全国大会は、和歌山県で開催されます。会員の皆様是非とも役員となり参加されてみませんか！

本当に良い経験をさせていた、だきました。大変有意義な大会でした。ありがとうございました。



筑波研修を終えて

二年四組 和田 源

筑波研修を終えて、特にこの研修の目的であった「職業観を広げる」という目的が最も満足するものでした。この研修中に見た職業は主に研究職でしたが、この職業を様々な側面から見ることができ、結果的に自己の職業観を広げることができました。

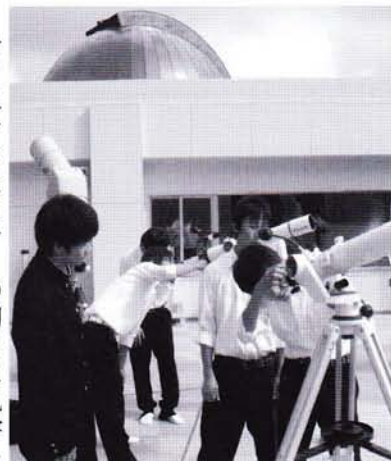
この研修では日本一ないし世界一の研究施設を直に見て、触れて、大いに刺激を受けました。訪れた研究施設の研究員の方からお話を聞き、科学全般に興味を持ってました。それと同時に自分の浅はかさを知り、勉強に対するモチベーションが上がりました。

結果として、筑波研修は刺激的でとても有意義なものとなりました。



サイエンスセミナーを終えて

一年四組 吉川 潤



サイエンスセミナーの初日に見学した試験場では、牛のブラッシングや妊娠している牛のおなかにいる赤ちゃんを見させていただきました。ここにいる牛は主に食用で、普段私たちが食べている命の重さを改めて認識することができました。

夜に行った天体観測では、普段見ることができない月の表面など精密機械の天体望遠鏡を通して観測しました。実際に星を眺めながらサヒメルの職員の方から天体についての貴重なお話を伺いました。

今回のサイエンスセミナーは学校生活では体験できないようなことがたくさんでき、大田高校のOBの方にも会え、僕たちに将来を考えさせてくれるすばらしいものでした。

部活動への取り組み

一年三組 羅 紘士

私は自然科学部に所属していて、個性豊かな仲間たちと一緒に活動しております。

自然科学部はとにかく色々な所に行き活動することが多いです。県外にも行くことがあります。たまに高校一年生でも分からないこともあります。それでも新たな発見をしたような感じ。とてもおもしろいです。これからも楽しんでやっていきたいです。

一年三組 渡辺 智紀

私は高校に入ってから陸上競技を始め、投てきで勝負しようと思いました。

今シーズンは大会に出て自分なりに記録を残すことを目標に取り組みました。出場した二つの大会では、ある程度の記録を残すことができました。この冬の練習を頑張る、一回り大きくなった自分で来シーズンのスタートを切りたいです。

一年四組 柿田 康利

私たちバスケットボール部はプレイヤー十七人、マネージャー二人の十九人で活動しています。個性豊かなメンバーたちと日々練習に励んでいます。一人ひとりの意識を高め、今まで以上に頑張りたいと思います。部活と勉強の両立が大変ではありますが、周囲の方々への感謝の気持ちを忘れず、期待に応えらるよう努力していきたいです。

二年一組 尾崎 香奈

私たちは吹奏楽部は、三年連続中国大会出場を果たしました。新チームになってから人数も少なく大変ですが、毎日地道な練習をコツコツしています。

最終の目標は夏のコンクールですが、一つ一つの本番を大切にがんばっているところです。

来年のコンクールでは、全員が悔いの残らないようにしたいと思います。

二年二組 田村凌太郎

私は野球部に所属しています。「甲子園出場」を目標に毎日練習に取り組んでいます。

今秋の県大会では、あと一步のところまで中国大会出場を逃し、とても悔しい思いをしました。この悔しさを冬期トレーニングへの励みにし、「心技体」ともに成長します。そして来夏、必ず甲子園の土を踏んでみせます。

進路への取り組み

一年一組 松田健太郎

僕は高校に入学してからすぐに将来について考えるようになりました。当然のように将来就きたい職業が思い浮かびましたが、その職業について調べると知らなかった事がたくさん出てきて今はどうしようか悩んでいます。なので今は将来就ける職業の幅を広げられるように、毎日の予習と復習を積み重ね学力を定着させていきたいと思っています。

一年二組 川上 佳月

私は二年生の文理選択でとりあえず文型をどうしようか思っていました。しかし、先生方のお話や講演などを聞いて、「とりあえず」などではなくもっと真剣に考えなければいけないと思うようになりました。なので文理選択のため、今の自分を見直し将来のことも視野に入れ勉強や部活動にはげみたいと思います。

二年三組 大門 竜馬

自分は一年生まではとりあえず進路は二、三年になってから決めれば大丈夫だと思っていました。しかし、二年生になり、それでは甘かったんだと進路の講演会などを聞いて実感しました。なので今は志望校も決め、その目標を達成できるよう毎日勉学にも、部活にも勤しんでいます。この気持ちをずっと持ち続けたいと思います。

二年四組 佐野 史弥

先日、「科学の甲子園」島根県予選に参加しました。県内の高校生が数学や理科の力を競う大会でしたが、他校の実力は高く自分はまだまだだと痛感しました。今の自分は、勉強と部活で忙しく毎日を受け身で過ごしています。しかし、今のままでは実力を伸ばすことは無理なので現状を越える為にできることから挑戦していきたいです。



【男子】

順位	学年・組	氏 名	記 分	録 秒
1	1年2組	吉田 裕志	40	34
2	2年1組	菅 信亮	40	59
3	3年4組	田平俊太郎	41	15
4	2年4組	佐野 史弥	41	23
5	3年1組	和田 賢宗	41	33
6	2年3組	土谷 和愛	42	42
7	1年3組	宅和 良也	43	00
8	1年4組	渡辺 直紀	43	31
9	1年2組	茶堂 俊紀	43	55
10	2年1組	徳川 顕真	43	59

【女子】

順位	学年・組	氏 名	記 分	録 秒
1	1年2組	森脇 晴香	35	16
2	2年1組	眞田 萌	35	34
3	1年1組	柳澤 菜月	35	57
4	2年4組	幸村 玲菜	36	13
5	3年5組	福島 未咲	36	19
6	2年3組	和田 紘佳	36	42
7	1年1組	田原 理穂	36	53
8	2年3組	川上真貴子	36	59
9	3年4組	宮迫 瑠佳	37	05
10	1年3組	石田 菜奈	37	09

学園祭を終えて

生徒会長 二年四組 須田 泰生

大田高校の創立九十周年を記念し、生徒を代表し挨拶させていただきました。たくさんの方を招いた式典で、会場の作りや雰囲気からもこの式典の重さを感じられ、実際に挨拶させていただいた壇上では改めて九十一年の深みを実感させていただきました。この伝統を守り、そして後の世代にも引き継いでいきたいと思います。

紫組団長 三年一組 高木 篤司

私たち紫組はテーマにもあったように、笑顔で楽しむことができました。総合優勝することはできませんでしたが、みんなで協力した結果、団結の部で一位をとることができました。暑い中ついてきてくれた一、二年生、支えてくれた三年生には感謝しています。本当にありがとうございます。

青組団長 三年二組 月森 泰宣

最後の大高祭、青組の団長をすることができ、本当に嬉しく思います。優勝することは叶わなかったけれど、最後まで優勝に向かって、協力してくれた一、二年生のみんなには本当に感謝したいです。そして、なにより三年生のみんなに心からありがとうと言いた

いです。最高の思い出とみんなと共に歩めたことを誇りに思います。本当にありがとうございました。

緑組団長 三年三組 野津 卓

今でも体育祭の思い出は私の中では色濃く残っています。三年三組の皆もそうでしょう。それは、三組の一人一人が意見を言って、時にはぶつかり合った結果だと思っています。そして、私たちは体育祭を心から楽しみました。一生の思い出になるであろう、今年の体育祭を支えて下さった方々、本当にありがとうございました。

赤組団長 三年四組 福岡 幸司

大高祭を終えて、本当にたくさんの方々にお世話になったと思います。学校の先生方はもちろん、クラスのみんなや赤組のみんな、地域みなさんの協力で本当に良い体育祭にできました。優勝よりも大事なことをたくさん経験できたと思います。みんなありがとう。

黄組団長 三年五組 坂根 舜哉

黄組のメンバーと一緒に体育祭を行えたことはとてもいい思い出になりました。みんなの笑顔が溢れる本当に素晴らしい体育祭だったと思います。また、協力してくれた一、二年生、支えてくれたクラスみんなにはとても感謝しています。ありがとうございました。

全国大会に出場して

弓道部

貴船 義幸

私は今年、岩手県で行われた全国高等学校総合体育大会に出場しました。大会出場が決まってから当日まで、様々な人から激励の言葉をもらったり、練習中にアドバイスを受けたりして、とても励みになりました。結果は準決勝敗退だったので、皆の期待に応えることができなかったのが残念でしたが、大会に出場したことによって得たものがたくさんあったのでよかったです。大会独特の雰囲気や全国の選手達の威圧感など普段味わえない空気も感じることで、とてもいい経験になりました。そんな空気の中で緊張を和らげてくれたり、気を引き締めてくれたのはやはり皆の励ましの言葉でした。応援してくださった方々、本当にありがとうございました。

植本 有海

全国大会では、あまり良い結果を残すことはできず悔しかったのですが、全国大会に向けて努力してきたので後悔はありませんでした。また、個人戦だったこともあり、全国大会を通して、今まで自分がどれだけ仲間を支えられ、助けられていたのかを実感するとともに、感謝の気持ちでいっぱいになり

ました。全国の舞台は団体で来てこそのであると感じました。来年こそ団体で行ってほしいと思います。

囲碁部

岡 菜津希

八月四日～八月五日の間、福島県福島市で行われた総文祭囲碁部門・個人女子の部に参加してきました。千葉・和歌山・群馬・茨城・鳥取・秋田の選手と対戦し、結果は三勝三敗でした。初の全国大会で緊張していたこともあり、負けはすべて時間切れによるものでした。今後は少しでも定石を多く習得し、全国レベルの碁力を身につけたいと思います。まもなく中国選手権予選が出雲で開催されますが、ここでは時間切れになることなく自分の碁力を出し切って戦いたいと思います。

将棋部

横山 侑生

福島で行われた全国大会では、先輩方が力強く私たちを引っ張って下さったおかげで、悔いの残らない対局をすることができました。大会で出会った他校の生徒たちとは、対局中は良きライバル、そして対局が終われば良き友人として共に貴重な時間を過ごすことができました。この大会を通して、優勝すること以上に価値のあることを見つけたことができたと思います。私たちを支えて下さった先生方、講師のみなさん、本当にありがとうございました。

★青組 3年2組



★黄組 3年5組



★紫組 3年1組



★赤組 3年4組

